

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5042	(H.24)No.	5042
-----------	------	-----------	------

事務事業名		旧市民・観阿弥公園施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	2	文化施設の充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	502002
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化施設管理費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	旧市民・観阿弥公園施設管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
旧総合市民会館(現在、郷土資料室、青少年補導センター、さくら教室、名張文化協会として使用中)と観阿弥ふるさと公園の維持管理	

めざす効果(事業目的)
文化施設の維持管理とともに活用を図ることを目的としています。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]
主な事業の実績・計画	需用費 1,288千円	需用費 1,052千円 (うち、修繕料80千円)
	役務費 28千円	役務費 26千円
	委託料 569千円	委託料 618千円
	使用料 240千円	使用料 240千円
		原材料費 8千円
直接事業費	2,125千円	1,944千円
財源内訳(千円)		
国庫支出金		
県支出金		
地方債		
その他(諸収入)	16	16
一般財源	(0) 2,109	1,928
人工数		
職員	0.20人	0.30人
臨時職員等	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 1,630千円	2,360千円
+ 総事業費	(0千円) 3,755千円	4,304千円

現在の実施手法(複数選択可)		
市が直接実施		
業務委託(全部・一部)により実施		
指定管理		
補助金・交付金		
その他 ()		
平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
需用費 1,052千円(うち修繕費80千円) 役務費 26千円 委託料 618千円 使用料 240千円 原材料費 8千円	需用費 1,052千円(うち修繕費80千円) 役務費 26千円 委託料 618千円 使用料 240千円 原材料費 8千円	需用費 1,052千円(うち修繕費80千円) 役務費 26千円 委託料 618千円 使用料 240千円 原材料費 8千円
1,944千円	1,944千円	1,944千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	1年間に1回以上、文化、芸術を鑑賞したことのある市民の割合	-	-	-	-	53.0
	実績		49.6	54.2	51.5	50.7	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
予算の増額が困難な状況下で、最善の施設維持管理を実施しなければならない。	旧市民会館については、耐震性の問題もあり、倉庫としての有効活用が望ましい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
旧市民会館については、老朽化が進行している。	旧市民会館内の郷土資料室について、活用が求められており、移転の可能性も含めて検討が必要である。観阿弥ふるさと公園については、利用者や美旗地区から能舞台の橋がかりの設置が求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある	管理経費の節減につとめる。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できる	文化財保護を目的とした小事業が多く設定され、“小事業の縦割り”によるデメリットが大きいため文化財保護事業に含めることで解消が可能。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない <input type="checkbox"/> ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) <input type="checkbox"/> 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> 検討余地がある	光熱水費等管理経費の節減につとめる。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) <input type="checkbox"/> 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項